



取扱説明書 - 手動式圧着工具 CCPZ RN



適用

手動式圧着工具の使い方を下記に記載します。

品名 圧着工具
品番 CCPZ RN

品名 go / no go ゲージ
品番 CCPNP RN



対応圧着コンタクト仕様

コンタクトタイプ	品番		適合電線サイズ ¹⁾			被覆剥き長さ mm	導体挿入 穴径 mm	サイズ識別	ロケータ ポジション 番号	圧着深度	イメージ図 Image View		
			AWG	mm ²	SQ								
CD (10A)	CDMA/MD 0.3	CDFA/FD 0.3	26	0.14	0.12	8	0.9		M1/F2	1.3	CDMA CDFA		
			24	0.2	0.2								
			22	0.37	0.3								
	CDMA/MD 0.5	CDFA/FD 0.5	20	0.5	0.5	8	1.1			1.55	CDMD CDFD		
			18	0.75	0.75								
			18	1									
CDMA/MD 1.0	CDFA/FD 1.0	18	1	0.75	8	1.45		1.55	CDMD CDFD				
		16	1.5							1.25			
		16	1.5							1.25	8	1.8	
		14	2.5							2			
CC (16A)	CCMA/MD 0.3	CCFA/FD 0.3	26	0.14	0.12	7.5	0.9		M3/F4	1.3	CCMA CCFA		
			24	0.2	0.2								
			22	0.37	0.3								
	CCMA/MD 0.5	CCFA/FD 0.5	20	0.5	0.5	7.5	1.1		1.55	CC..AN			
			18	0.75	0.75								
	CCMA/MD 0.7	CCFA/FD 0.7	18	0.75		0.75	7.5	1.3		1.55	CC..AN		
			18	1									
	CCMA/MD 1.0	CCFA/FD 1.0	18	1	0.75	7.5	1.45		1.8	CCMD CCFD			
16			1.5	1.25									
CCMA/MD 1.5	CCFA/FD 1.5	16	1.5	1.25	7.5	1.8		1.8	CCMD CCFD				
		14	2.5	2									
CCMA/MD 2.5	CCFA/FD 2.5	14	2.5	2	7.5	2.2		1.9	CCMD CCFD				
		12	3	0.75									
CCMA/MD 3.0	CCFA/FD 3.0	12	3		0.75	7.5	2.55		2	CCMD CCFD			
		12	4	3.5									
CX (40A)	CXMA 1.5	CXFA 1.5	16	1.5	1.25	9	1.8	穴径で判断	M5/F6	1.55	CXMA CXFA		
			14	2.5	2								
	CXMA 2.5	CXFA 2.5	14	2.5	2	9	2.2			1.8	CXMA CXFA		
			12	4	3.5								
	CXMA 4.0	CXFA 4.0	12	4	3.5	9.6	2.85			2	CXMA CXFA		
10			6	5.5									
CXMA 6.0	CXFA 6.0	10	6	5.5	9.6	3.5	2.5	CXMA CXFA					
		8	10	8									
CXMA 10	CXFA 10	8	10	8	15	4.3	2.3	CXMA CXFA					
		8	10	8									

1) AWG = 米国, mm² = 欧州, SQ = 日本, 各国一般的電線サイズに対応表となります。

工具のセッティング

1. ロケータの設定



矢印 回転式ロケータ

圧着するコンタクトのタイプ(CD,CC,CX)を確認し、工具に刻印されている参照表の「POS」欄よりのロケータポジション番号を選択します。

Mはオス Fはメス

回転式ロケータを持ち上げて選択したロケータポジション番号(ロケータ側面に記載)が矢印の位置にくるまで回してセットします。

参照表(CD,CCコンタクト用)

CONTACT/SIZE	POS	SET
CD...0.3	M 1	1.3
CD...0.5/0.7/1.0/ 1.5/2.5	F 2	1.55
CC...0.3 (0.14)	M 3	1.2
CC...0.3 (0.25/0.37)		1.3
CC...0.5/0.7/1.0		1.55
CC...1.5/2.5		1.8
CC...3.0	F 4	1.9
CC...4.0		2.0

2. 圧着深度の設定



スケール (0.2mm単位の目盛り) 圧着深度調整スクリュー

圧着するコンタクトのタイプとサイズを確認し、工具に刻印されている参照表の「SET」欄より圧着深度を選択します。

圧着深度調整スクリューを回転させて選択した値とスケール上の値を一致させてセットします。

調整スクリュー1回転=スケール1目盛り

圧着深度のセットが終了したら、付属の六角レンチでネジを締め付け調整スクリューが動かないよう固定します。

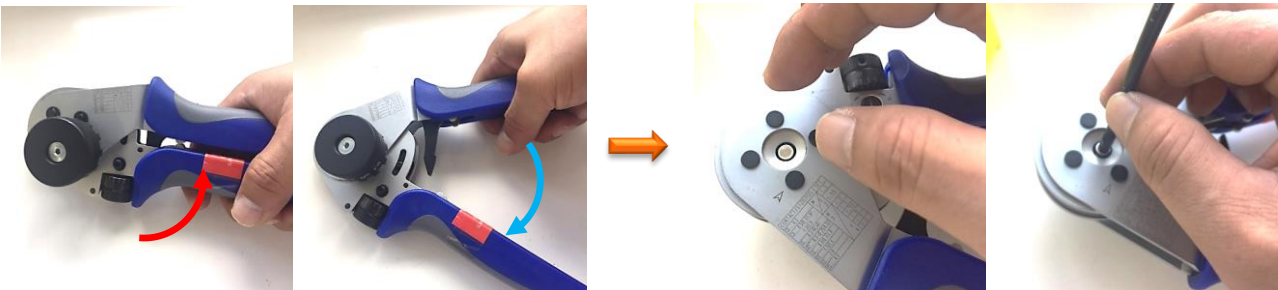
参照表(CXコンタクト用)

CONTACT/SIZE	POS	SET
CX...1.5	M 5	1.55
CX...2.5		1.8
CX...4.0		2.0
CX...6.0	F 6	2.5
CX...10.0		2.3

圧着深度調整スクリューの固定



圧着結線手順



工具のハンドルをラチェットが開放されるまで締め付けてハンドルを開きます。

圧着するコンタクト(端子)をかきめ口部に挿入しコンタクトに電線を挿入します。

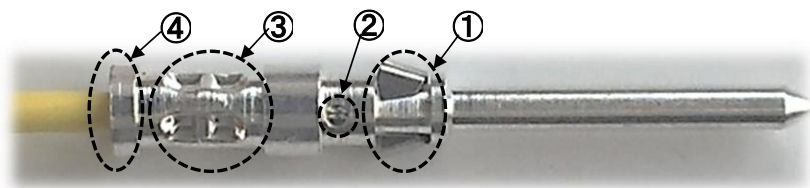


工具のハンドルをラチェットが開放されるまで締め付けて下さい。圧着が完了すればハンドルが自動的に開きます。



圧着されたコンタクトをかきめ口部から電線を真直ぐ引っ張って取り出して圧着作業は完了

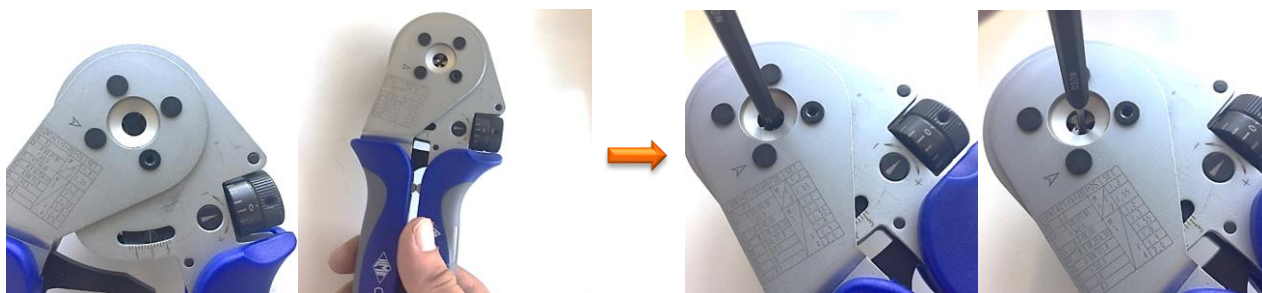
圧着後の確認事項



- ① リテーナ(バネ)が外れてないこと(CDコンタクトのみ)
- ② 点検穴から導体が見えること
- ③ 圧着位置が正しく8点の窪みがあること
- ④ コンタクトから導体(ヒゲ)がはみ出していないこと

工具校正

工具の圧着深度が適正かどうかを確認するためには、対応するgo/no go検査ゲージ(CCPNP RN)を使用します。



- ① 工具の圧着深度を2.0mmにセットします。
- ② 工具のハンドルを締め付けてかしめ口部が完全に閉じた状態にします。

- ③ かしめ口部に go/no goゲージ(型番:CCPNP RN)を真直ぐ挿入します。
 ゲージgo側(緑)は圧着口部を通過しなければなりません
 ゲージno go側(赤)は圧着口部を通過してはいけません

go/no go ゲージ検査が不合格の場合はメンテナンスが必要ですので弊社までご連絡下さい。